

他市町村の類似取組について

資料1

県内の自治体

	自治体名	ボランティアの名称	内容	登録の対象	登録の要件	活動の場	養成講座・研修制度・交流会など	企業との関わり	環境教育プログラム	予算措置等	担当者の意見
1	宗像市	環境リーダー (環境マイスター)	環境リーダーは上級・中級・初級の3部構成であり、環境美化運動など環境活動に積極的に参加する初級「エコスタッフ」、エコスタッフの支援や環境活動の柱としての役割を担う中級「環境サポーター」、環境保全審議会の委員就任、市民啓発のための出前講座主催、地域で中心となり環境活動を主催することなどが期待される上級「環境マイスター」となっている。	特に活動をしていない市民	特になし	地域	養成講座を環境地域づくり研究所に委託	特になし	特になし	「市民サービス協働化提案制度」を利用	<ul style="list-style-type: none"> ・今の形になったのは5、6年前だが、前身である共働大学で十数年前から育成については行っていた。 ・今年～去年くらいから夏休みの工作教室などを行っている。 ・環境マイスターの活動については、地域で団体を作ってもらい自主的な活動を行っている。特に市のほうで支援や繋ぎなどは行っていない。環境マイスターになっても活動していない人もいますので、今後はフォローの講座等も必要かと考えている。
2	福津市	ふくつ環境リーダー	平成22年頃までは環境リーダーの認定講座はあったが、既に終了しており、現在は里山や干潟のボランティアの皆さんと一緒に保全活動などを行っている。現在、人材育成的には環境単独ではなく、市全体で「郷育カレッジ」を行っており、その中に環境関連の講座も含まれている。環境関連の講座については、環境団体の人が講師として入ることもある。	-	-	郷育カレッジや団体の活動など	-	特になし	特になし	-	<ul style="list-style-type: none"> ・環境団体の人たちのネットワークとしてぐりんぐりん古賀のような「環境トラスト」を作りたいと考えているが、現在は情報共有などを行っている段階である。 ・昔は団体で人材育成も担っていたが、会員数の減少で難しくなっている。 ・市民などから問い合わせがあれば、団体の紹介なども行うと思う。 ・学校には、昨年度まで環境団体の人が講師として2校（福岡小、津屋崎小）に入っていたが、今年度からゴミのことが学習内容となった関係で、うみがめ課の職員が講師として入っている。
3	久留米市	久留米エコメイト	平成31年度からそれまでの「環境カレッジ」を変更し、市が主催する環境関連イベントや、環境教室などのお手伝いをするスタッフ的な位置づけで募集している。基本的に市職員と一緒に活動するもので、市が参加してほしいイベントの一覧を提示し、好きなイベントに参加する形としている。	市内外の希望者	18歳以上（高校生不可）	市の事業	-	特になし	特になし	500円/回（図書カード）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境カレッジでは最初から「他者に広げる」人を募集していたが、エコメイトは「職員と一緒に」ということで募集しており、今まで活動していた人のほか、新しく入ってくる人も増えた。
4	久留米市	市民公益活動団体	さまざまなボランティア団体が登録しており、環境関係の団体も登録してある。久留米市が活動のHPへの掲載やイベント実施の際の支援などを行っている。	市内の団体	特になし	-	年に1回程度、環境関係の団体のみ集まる意見交流会を実施し、団体同士の交流、講演会、市が行う事業への意見聴取などを実施。	田主丸のダイハツと協定を結んでおり、今年度から自然観察会を行う予定。	-	金銭的な支援はなし	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や学校からも、問い合わせがあれば対応はする。 ・活動の場づくりについては、市の主催する自然観察会などで講師として来てもらったりはしているが、他にやっていることはない。

県外の自治体

5	茨木市 (大阪府)	環境教育ボランティア	環境に関する知識や経験を有し、なおかつ講師として伝える技術を持った方を「茨木市環境教育ボランティア」として登録。受講者が講師を選んで好きな内容を依頼をすることができるほか、やりたいことが決まっていない場合には、あらかじめ用意されているプログラムから選ぶことも可能となっている。また「茨木市環境教育ボランティア」を支援する「茨木市環境教育サポーター」も20数人ほど登録している。	市民	「環境関係の資格を持っている」もしくは「環境団体」の人	市民・学校	年に1回ボランティアの研修を行い、指導の仕方などを研修している。 (特に養成講座はないが、大阪府でNPOが「シニア自然大学」を行っており、そこの卒業生なども多い)	特になし	有（様式だけ市が作成、内容をボランティアが作成。各プログラムごとに講師は固定）	無（交通費・材料代は依頼者負担）	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の場としては「小学校からの依頼」「市の事業」「市民からの依頼」の3つがあり、ほぼ同じくらいの件数である。学校・市民からの依頼は、どうしても同じ方ばかりになるので、あまり依頼のない方は市の事業などで活動をお願いして、できるだけ多くの方に活動してもらうようにしている。 ・登録の要件で「環境関係の資格を持っている」があるので、元々仕事などでしていた方も登録いただいている。 ・環境プログラムをみて依頼してくることが多いが、「以前この先生が良かったから」とボランティアを指定されることもある。 ・自分も何年か担当しているが、企業からの依頼はない。依頼があれば派遣はできる。 ・環境教育サポーターの経験を経て、環境教育ボランティアになった人もいます。
---	--------------	------------	--	----	-----------------------------	-------	--	------	---	------------------	--

県外の自治体（続き）

	自治体名	ボランティアの名称	内容	登録の対象	登録の要件	活動の場	養成講座・研修制度・交流会など	企業との関わり	環境教育プログラム	予算措置等	担当者の意見
6	徳島市 (徳島県)	環境リーダー	「水環境」「自然環境」「地球環境」「廃棄物・リサイクル（清掃活動、3R）」「環境教育」などの分野で、環境保全の普及・啓発に個人またはグループで取り組み、市の事業である「出前環境教室」の講師を務めるなどの活動を行う。	市民	年に4～5回行う連続講習会を全て受けた人	学校や児童館、コミュニティセンター	・年に1回、環境リーダー同士の活動報告会兼交流会を行っている。 ・養成講座を年4～5回の連続講座で行っている。	特になし	有（市作成）	有（1回3,000円）	・基本的に個人だが、竹工作はグループで登録いただいている。 ・企業の活用は特になし。学校や児童館、コミュニティセンターなどが7～8割を占めている。 ・メニューは市が作成。講師を環境リーダーが行っている。内容の改良などは提案いただくことがあるが、メニュー作りまでは至っていない。個人的にはぜひしてほしいと思っているが・・・ ・93人のうち、活用があるのはだいたい2～30人。できれば多くの人を活用したいがなかなか難しい現状である。
7	旭川市 (北海道)	環境アドバイザー	環境に関する知識を有する市民や団体を「環境アドバイザー」として登録。それぞれ講師がプログラムを持っており、それを選ぶことも別に頼むこともできる。依頼は直接アドバイザーに行えるようになっており、内容や日時など決定後、市に申請を出す形となっている。	市民・団体	特になし	児童館、学校、公民館、町内会	年1回の学習会を行う。制度当初の平成7～9年に養成講座を行っていた。	イオンチアーズクラブ（イオンが募集している子どもたちの環境学習団体）から依頼が来たことはある。	有（アドバイザー作成）	有（1回5,000円） ／40件	・平成9年からアドバイザー制度を行っており、平成7年～9年度で養成講座を行ったが、現在は年1回の学習会程度。 ・企業の登録はないが、NPOが2つ登録している。 ・登録の要件は特になし、「市民の中の詳しい人を登録」というスタンス。平成30年度は1団体、2個人の登録があったが、一昨年は0だった。 ・平成30年度は29件の利用があった。大体子どもが4割くらい。 ・活用の偏りがあるため、一昨年にアドバイザーのほうからチラシを作りたい、との申し出があり、各小学校や公民館に配布したが、反応はいまいちであった。
8	いわき市 (福島県)	環境アドバイザー	環境に関する知識を持った人を「環境アドバイザー」として登録。環境に関する派遣依頼を行うと、市が対応できる講師を調整し、派遣する。内容については依頼したい人と講師で話し合い、決定する。	市民	特になし	学校、地域サークル、公民館事業	特になし	平成30年度に4件派遣した	無	有（1回6000円） ／50回	・企業の人のアドバイザーとしての登録はないが、派遣は4件あった。ゴミのたい肥化講習会や水質調査などについて、事業所内の研修のほか、企業のイベントの講師として派遣したりしている。特に事業所向けの対策や啓発などを行ってはいないので、ホームページの掲載などを見て連絡してきているのだと思う。 ・申請を受け付けた後、講師の行き帰りや講座中の事故に対応するための保険に加入している。 ・アドバイザーの活用には偏りがあるが、特に対策などはない。
9	越谷市 (埼玉県)	こしがや環境サポーター	市や学校の行う事業のほか、保全活動や生物調査、交流会・学習会を行ってもらう①市民サポーター、②学生サポーター、③企業サポーターの3つのサポーターを登録している。	①市民 ②学生 ③事業所	①18歳以上 ②高校生以上の学生 ③市内の事業所	市のイベントや学校の出前講座	更新の際に必要な研修会を実施	企業サポーターに1社登録あり	特になし	特になし	・地域や企業などの依頼は特になし、基本的に市の事業に参加いただいているボランティア的な制度。 ・企業サポーターや学生サポーターには、学校や事業所にそれぞれポスター配布などをして呼び掛けている。 ・現在登録いただいている企業サポーターは、もともと「こしがや環境推進市民会議」に登録いただいていた企業で、それをきっかけにいただいていると思う。 ・学生サポーターの希望者には活動証明書を出している。 ・サポーターの活用については偏りがあるが、事業に対する希望を取っているため、なかなか調整は難しい面はある。 ・サポーターについては、2、3年に一度更新していただいている。年に2、3人くらいは新しい登録の人もある。
10	松山市 (愛媛県)	エコリーダー	市民や学校などが、モデルプランの中から受けたい講座を選び、市が登録されているエコリーダーの中から講師を決定し、派遣する。派遣されたエコリーダーと実施主体で打ち合わせを行い、事業を実施する。	市民	県環境カウンセラー、もしくは同等の能力・経験がある人	市民や児童館、学校者	年度初めに全体会を開催。エコリーダー同士の情報交換や交流、前年度の報告を行う。	環境系の企業の人登録している。	有（各リーダーが登録の際にプランを提出し、市が精査して作成）	有（6,750円：その年の臨時職員の日額と同額） ／日	・現在65人登録。応募してくる人のほか、エコリーダーのつてなどで来る人も多い。 ・1つのモデルプラン（プログラム）にたいして、5～6人のリーダーが対応できるものもあれば、1人のリーダーしか対応できないものもある。 ・リーダーの情報を公開せずに、モデルプランのみ公開している。「何を学びたいか」という目的で選んでほしいことと、1人のリーダーに依頼が固まらないように、市のほうで調整できるようにするため。 ・企業の人（環境系）のほかに、元学校の先生や大学の名誉教授なども登録してもらっている。
11	宮崎市 (宮崎県)	環境学習パートナー	登録された環境学習パートナーを、依頼を受けた実施主体に派遣する。	個人、団体、企業	環境に係る分野で活動する有識者及び経験者	PTAや児童クラブ、自治会	特になし	特になし	有（パートナーが作成）	有（1回3,000円） ／30件	・企業の人はいないが、現役の人がボランティアで入ってくれている。 ・特に落とすことはないが、一応市の看板を背負ってもらう形になるので、登録の申し込みをいただいた際に、書類審査と面接を行っている。 ・年間30件程度の活用をめざしているが、昨年19件、今年度は16件の申し込み状況。 ・子ども向けの体験を行うパートナーは人気があるので、活用があるが、なかなか申し込みのないパートナーもいる。これまでは特に対策をしなかったが、市が主催しているイベントが年数回あるので、その際に声掛けをしたいと考えている。